

新技術・情報名	タマネギ移植の機械化		
実施場所	三重県農業技術センター 営農部	分類	※ ③

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

苗質(苗の草丈)・床土条件(種類・水分)が移植機の性能に及ぼす影響について検討した結果、床土の種類は固結剤混入粒状培土が良く、灌水方法は、移植前10日で灌水を中断し、移植前日に充分灌水する方法が良好であった。

剪葉による草丈の規制の効果は、顕著でなかったが、草丈以外の条件(葉がらみ・しおれ)の影響で欠株が生じた。

欠株対策、育苗管理の省力化をめざし、一粒播種技術の確立のため種子の催芽と催芽種子の分離技術、催芽種子(一粒播き)の苗立率向上・安定化の試験は継続中である。

2) 技術・情報の適用効果

催芽・播種・育苗までの技術確立と移植機を結びつけることにより播種・育苗作業の省力化と共に、苗取・移植の多労問題が解決され、省力栽培技術が確立される。

3) 適用範囲

県下タマネギ栽培地帯(無マルチ地区)。

木曾岬干拓地・青蓮寺開拓地の畑地など産地形成地帯。

4) 普及指導上の留意点

マルチ栽培体系の圃場には適用しない。

圃場は、碎土を充分に行なう。

2. 具体的データ

第1表 試験区の構成

定植期	苗の剪葉	灌水方法
11月1日	なし	移植前10日まで灌水
	18cmカット	移植前7日まで灌水
	15cmカット	移植当日まで灌水

移植前10日・7日
日も移植前日に
は灌水

第2表 11月1日定植の苗条件

灌水方法	草丈(cm)	莖径(mm)	生葉数	地上部生重(g/本)
移植前10日まで(-10日)	22.6	4.4	3.4	1.35
移植前7日まで(-7日)	22.9	4.2	2.9	1.24
移植当日まで(0日)	19.5	3.7	3.2	1.01

注) 播種期 9月14日 育苗日数 48日

第3表 11月1日定植の植付精度

灌水・剪葉方法	項目	ポットの破損程度		こぼれ苗率(%)	植付本数(本/鉢)	植付深さ(cm)	植付容積	損傷率	
		(%)	(%)					(%)	(cm)
-10日	なし	22.0	23.4	1.3	1.1	3.2	正常	0	12.0
	18cm	32.0	15.0	0	1.0	2.7	正常	0	12.1
	15cm	22.2	15.0	0	1.0	3.0	正常	0	12.1
-7日	なし	0	36.0	0	1.1	2.1	正常	0	12.3
	18cm	2.5	38.0	2.0	1.1	1.9	正常	0	12.2
	15cm	7.7	43.0	2.0	1.1	2.4	正常	0	12.2
0日	なし	1.3	41.0	2.0	1.0	1.4	正常	0	12.5
	18cm	5.0	45.0	4.0	1.0	1.4	正常	0	12.7
	15cm	2.5	56.0	3.0	1.0	1.6	正常	0	12.4

注) 圃場条件: 土壌水分=13.1% 1cm以下土壌97.1%

ポットの破損程度: 正常植えさされた体のポットの破損程度

3. その他特記事項

研究課題名: ネギ類(タマネギ・葉ネギ)の育苗移植機械化栽培技術の確立

期間: 昭57年~60年 予算区分: 総合助成